

町教育委員会では、児童生徒の「生きる力」を養うため、学校や家庭、地域とともにさまざまな取り組みを行っています「夢ある子どもを育む那須の教育」について12回シリーズでお伝えします。

夢・感動通信

学校を核とした地域ネットワークづくり

No.7



学校と地域の皆さんとともに汗を流す活動を「地域学校協働活動」と言います。お祭りやフェスティバル、高齢者とのふれあい、公民館事業、美化活動など、地域と学校の双方向の交わりにより、子どもたちの地域への愛着が、一

▶ふれあい祭り（学びの森小学校）



6月号では、地域の皆さんに支えられる「コミュニティ・スクール」の様子をお伝えしました。今年度も、400人を超える地域の皆さんに、学校支援ボランティアに登録していただいています。こうした学校支援の動きに加え、子どもたちが地域に向いてさまざまな地域活動に参加する動きも、「コミュニティ・スクール」の特徴です。

▼問合せ
生涯学習課生涯学習係
☎72-6923



層深まることが期待されます。高久小学校では、総合的な学習の時間に、伝統芸能「本郷八木節」のことを知り、保存会の皆さんから技術指導を受け、公民館主催の「なんでも芸能自慢大会」で一緒に発表するという地域学校協働活動を展開しました。この取り組みは、「コミュニティ・スクール」の可能性を示す好事例として、多くの注目を集めています。各地域の特色ある地域学校協働活動は、地域活性化の重要な力になっていきます。

1番人気はチーズがとろとろの「ミートとポテトのラザニア風」のパイ



ジュエリー作家である娘さんの作品も店内に並んでいます

国道4号線から見える緑に囲まれたお店でゆっくり過ごせます



Taragon
☎0287-72-6403
定休日：月曜日、火曜日
(但し、祝日は営業)

那須のいろんなおいしいものを、作る人の思いも一緒にご紹介。

ほっとひと息

母の愛情 焼きたてパイ



山野草がさりげなく飾られた落ち着いた店内。テイクアウト用のパイやクッキーもあります

「家族に、地元の人に、遠方からのお客様に支えられてきました」と話すのは、平成4年から焼きたてパイのお店を営む力ファエマママの竹井和子さん。ご主人の転勤先の郡山でハーブに出会い、ハーブを使った料理やお菓子を作っていたそう。この場所で開業したのは「四季折々の雑木林が大好きだから」と竹井さん。店名はハーブの名前から選んでつけたそうです。お店で最初に提供したのは、家族のために焼いていたアップルパイ。今では、ランチパイやデザー

パイなど合わせて20種類がメニューに並びます。パイの具材・ジャムはすべて手作りで、野菜・肉・卵など那須地域の素材にこだわっています。そんなタラゴンのパイを広めたいと、6年前に2号店「Taragon nasuII」を守子にオープンし、現在、息子さんがその味を受け継いでいます。定年退職後ご主人も、パイ生地を作り、家族でその味を守っています。焼きたてパイは、母の愛情がぎゅっ詰まった優しい家庭の味です。